

研究課題名「慢性好酸球性肺炎の診断および治療に関する後ろ向き調査」に関する情報公開

1. 研究の対象

本研究の対象者は、2010年4月1日から2023年6月30日の間に、公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科にて慢性好酸球性肺炎と診断された患者さんです。

2. 研究の目的・方法・研究期間

研究の目的：

慢性好酸球性肺炎は、肺の中に好酸球の浸潤を認める原因不明の疾患です。通常ステロイド薬への反応が良いことが特徴ですが、一方で統一された診断の基準がなく、発症頻度などの疫学情報が乏しい状況があります。また、ステロイド薬を減らすことによる再発が多い疾患で、ステロイド薬の長期使用が避けられない難治例も少なからず存在します。

近年、重症喘息やアレルギー性鼻炎、鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎などに対して、生物学的製剤が使用され、その有効性が明らかとなっています。これらの生物学的製剤は、症状の改善だけではなく、好酸球が原因の病気の改善や経口ステロイド薬の減量、中止といった効果をもたらし、結果としてステロイド薬使用による副作用を減らすことにつながっております。ステロイドを中止することが難しい難治性の慢性好酸球性肺炎においても、現在は適応されておきませんが、生物学的製剤による治療が新たな治療選択肢となりうる可能性を示しています。

本研究の目的は、慢性好酸球性肺炎の診療実態を明らかにすることです。また難治性の慢性好酸球性肺炎の治療経過と、生物学的製剤使用例の臨床経過を調査することで、難治性好酸球性肺炎の新規治療の創出につなげる基礎データを作成することを目指します。

研究方法：

本研究では、研究の同意が得られた施設にて慢性好酸球性肺炎と診断された患者さんのカルテデータを調査させていただきます。カルテデータについては、匿名化を行い個人情報の保護を行います。

研究期間：

研究機関の長の許可日（提供開始日：実施承認日）～ 2030年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、併存症、既往症、処方薬、病歴、症状、治療歴等の臨床経過情報、血液検査結果、肺機能検査、胸部CT、気管支鏡検査（気管支肺胞洗浄液、肺生検の病理所見）結果 等

4. 外部への試料・情報の提供

集積したデータは名古屋大学病院にて、名古屋大学病院の研究責任者が特定の関係者以外がアクセスできない状態で保管・管理します。

5. 研究組織

名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科

共同研究機関 （順次追加予定）

豊橋市民病院

独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター

トヨタ自動車株式会社 トヨタ記念病院

公立陶生病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科

担当者：松田 俊明

電話番号：0561-82-5101

FAX：0561-82-9139